

# 鹿児島県漁海況週報

平成22年9月30日発行(9月23日～9月29日)  
第2373報(旧暦:8月16日～8月22日/月齢14.7～20.7/潮汐:大潮～小潮)



鹿児島県水産技術開発センター  
〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号  
TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218  
HP: http://kagoshima.suigi.jp/

## 【海況】

### 黒潮北縁域(薩南～トカラ群島海域)

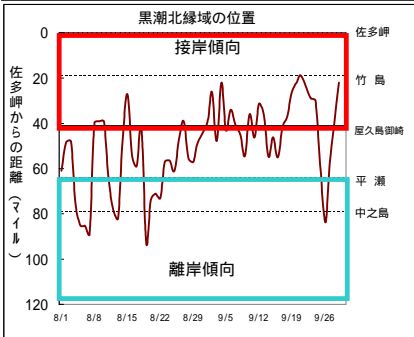
黒潮北縁域は9月29日現在、竹島の南3マイル付近にある。

### 黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は9月28日現在、22マイル付近にある。

### 定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して与論で0.8 昇温し、その他の海域では0.2～3.1 降温した。平年比較では黒潮流域、佐多岬、笠利崎で“かなり高め”、鹿児島、与路島で“やや高め”、甌海峡では“平年並み”となった他は“著しく高め”となった。



表面水温

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	28.7	-0.5	+1.0	かなり高め
鹿児島	26.1	-2.7	+0.9	やや高め
佐多岬	27.2	-1.1	+1.1	かなり高め
竹島	28.2	-0.3	+1.6	著しく高め
屋久島御崎	28.5	-0.2	+1.5	著しく高め
中之島	28.6	-0.2	+1.3	著しく高め
笠利崎	28.1	-0.2	+1.0	かなり高め
与路島	28.3	-0.3	+0.9	やや高め
与論	28.9	+0.8	+1.4	著しく高め
甌海峡	25.7	-3.1	+0.3	平年並み
甌島西	-	-	-	-

鹿児島 - 那覇定期客船観測は9/29-30  
串木野 - 甌定期客船観測は9/29  
甌島西(浮魚礁)観測は欠測

## 【漁況】

### 定置網

西薩南部海域では、ヒウオ(200～300g)が200kg/日、サラ(300g)が200～300kg/日の入網。鹿児島湾口部薩摩半島側では、ヒウオ(200g)が150～240kg/日、キンガマシ(1.8～2kg)が1日のみ1トン、カンパチ(3.2～3.6kg)が1日のみ300尾、週計でキハダ(40～60kg)が3尾、キハダ(7～8kg)が20尾の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、週計でカマサワ(8～15kg)が8尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で40尾のカマサ、サハ類中、マアジ主体に37トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でチウオ、マアジ、サラ主体に15.8トンの入網。種子島海域では、キハダ(6～8kg)が1日のみ50尾の入網。

### キビナゴ刺網

甌海域では、5～30箱/隻・日の漁。種子島海域では、多い船で30箱/隻・日の漁。

### トビウオロープ曳網

種子島海域では中ヒを20～30箱/統・日の漁。屋久島海域では中ヒを50箱/統・日、青ヒを1箱/統・日の漁。

### ブリ銅付け

西薩南部では、3～4kgサイズを500～700尾/統・日の漁。鹿児島湾口部薩摩半島側では、2～9kgサイズを5～30尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に記載しています。)

### 業種別・漁港別水揚げ状況

漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日1統	評価	前週		前年同期		
								隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	21	縄瀬	サハ類小57 ウルメイワシ26 カクチイワシ15	10.7		1	62	4	80	
		中	33	縄瀬	ウルメイワシ45 カクチイワシ27 サハ類小12	8.2		22	165	28	622	
	枕崎	大	49	宇治	ゴマサハ豆99	16.3		8	529	5	182	
		中	202	馬毛島 坊津沖 黒島	ゴマサハ豆69 ウルメイワシ28	33.6		19	271	13	124	
	内之浦	中	-	-	-	-		2	4	0	-	
	山川	中	0	-	-	-		0	-	0	-	
計	大	5	70	-	-	14.1		9	591	9	262	
	中	10	234	-	-	23.4		43	439	41	746	
東海旋網	阿久根	0	-	-	-	-		0	-	1	50	
	枕崎	0	-	-	-	-		1	237	5	791	
棒受網	阿久根	11	22	阿久根沖 長島	ウルメイワシ89 マイワシ小5	2.0		51	110	47	37	
	内之浦	0	-	-	-	-		9	24	6	6	
定置網	内之浦	40	37	-	カマサハ 17 サハ類中15 マアジ豆12	0.9		41	51	36	16	
刺網	阿久根	47	6	甌	ヒナゴ100	0.1		53	9	44	2	
カツオ竿釣	枕崎	大	0	-	-	-		0	-	0	-	
		小	0	-	-	-	-		1	18	0	-
	海旋	大	0	-	-	-	-		0	-	1	797
		小	0	-	-	-	-		0	-	0	-
海外旋網	山川	中	2	-	キハダ60 カツオ小39	2.0		1	3	2	38	
	瀬戸内	小	0	-	-	-		0	-	0	-	

## パッチ網

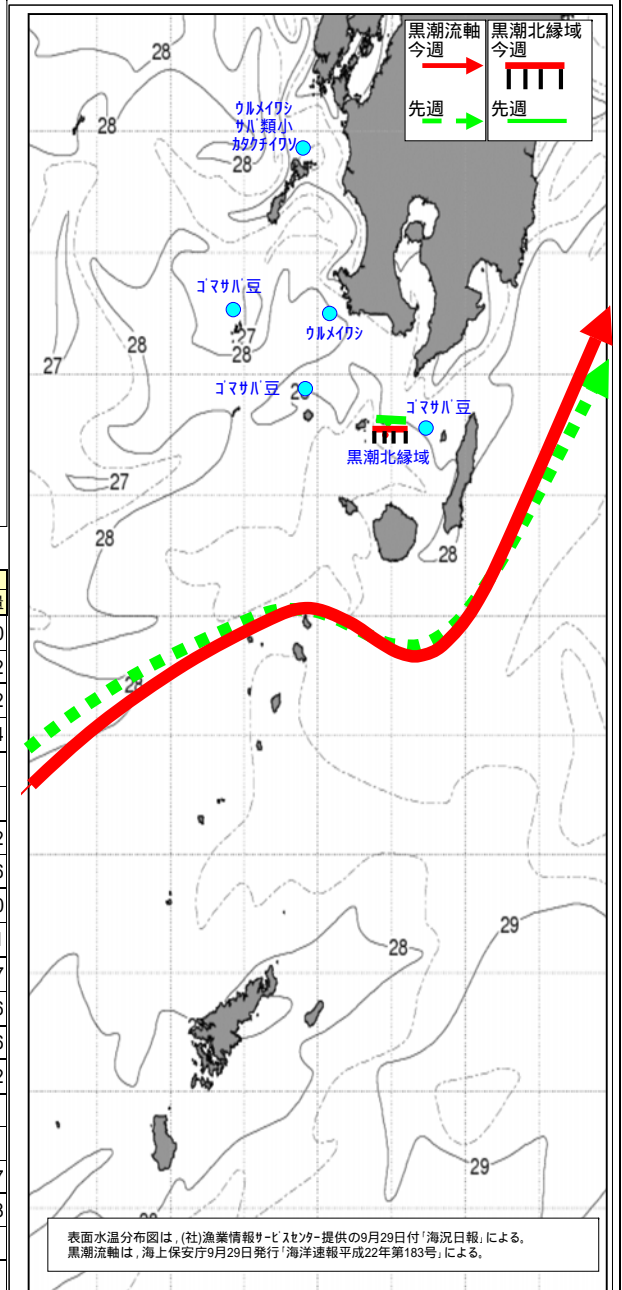
志布志湾海域では、フリマを製品で4.1トンの入札があった。

## バショウカジキ情報

流し網では、甌海域で20～30kgサイズを多い船で5～10尾/日、西薩海域で20～25kgサイズを週計で71尾、西薩南部海域で20～30kgサイズを多い船で20尾/日、鹿児島湾口部大隅半島側で19～25kgサイズを週計で39尾の漁。定置網では、西薩南部海域で20～30kgサイズを2～3尾/日、鹿児島湾口部薩摩半島側で22～36kgサイズが週計で8尾の入網。

## その他

西薩海域では、ごち網でマタイ(200～300g)を週計で130kg、底曳網でツヒガイを350～400kg/日、延縄でマタイ(200～300g)を週計で400kg、アカマタイ(400g)を週計で140kgの漁。大隅半島南部海域では、タモすくいでもヒウオ(250g)を多い日で500kg/日の漁。志布志湾海域では、底曳網でイホタイ(200～300g)を週計で100kg/隻・日、ヤリイカ(10g未満)を50kg/隻・日の漁。熊毛海域では、一本釣りでカンパチ(3kg)を多い船で20～30尾/隻・日、ムツ(1～9kg)を1日のみ50kg/隻の漁。奄美南部海域では、一本釣りでチウオ(1～2kg)を3日操業で130～150kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の9月29日付「海況日報」による。黒潮流軸は、海上保安庁9月29日発行「海洋速報平成22年第183号」による。